授業科目	＊初年次セミナーⅠ(林)					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	林　　裕二						
授業概要	大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探求していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナーⅠおよびⅡで構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。初年次セミナーⅠでは、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、ノートの取り方、本の読み方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索、インターネット等の ICT 活用法など、大学で主体的に学ぶ技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。 2~15 回授業では、1 年生が６０人とすると、専任教員全員が、それぞれ７～８名程度を担当する。 講義、 グループディスカッション、ディベート等の活動を行う。						
授業形態	講義			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を鍛錬・強化できる。 2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。 3. 他者と相互に学び合う関係を築くために、自分の考えを述べることができる。 4. グループ学習において、目標達成にむけて他者と協力し行動できる。 5. 課題解決のために、探求する姿勢を身につけることができる。 6. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。 大学生に相応しいレベルの「読み」「書き」ができる。
理想的レベル	社会にでて要請される職務を達成できる基礎学力が養成されている。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト	20%	
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	35%	
レポート外の提出物	15%	
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	T010201J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）

・大学とは？ ・大学で学ぶためのスタディ・スキルズとは？ ・『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を身につける	1

授業計画	
第 1 回	全体オリエンテーション 『大学とは？』
第 2 回	学科個別教員オリエンテーション＆スタディスキルズ
第 3 回	聴く・読む・ノートテイキング 読書について①
第 4 回	リーディングの基本スキル・テキスト 読書について②
第 5 回	より深いリーディングのために・要約 読書について③
第 6 回	大学図書館における情報収集 学生生活①
第 7 回	インターネットによる情報収集 学生生活②　＆　情報の整理（文献リスト)学生生活③
第 8 回	ライティングの基本スキル（レポート・論文）
第 9 回	効果的なアカデミックライティング
第 10 回	パソコンによるライティングスキル
第 11 回	表現する・伝える(プレゼンテーションの基本)
第 12 回	表現する・伝える（プレゼンテーションの応用）
第 13 回	わかりやすいプレゼンテーションのために
第 14 回	プレゼンテーション
第 15 回	纏め
テキスト	授業中に配布するプリントあるいは担当者の指定するテキスト
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	学生時代にしか読めない新書、文庫本を多読する。 各社の新聞を読み比べてみる。キャンパスで利用できる図書館のデータベースの利用の仕方に慣れるように使ってみる。
課題に対するフィードバックの方法	正確な日本語が読める、書ける、論理的な話ができるように毎日修練する。 プレゼンテーション、レポート等を実施します。プレゼンテーション評価は返却します。
学生へのメッセージ・コメント	自分で読みたい本を選び、母語である日本語の知識を涵養する。 新聞・雑誌、書物等を読み母語である日本語の理解と表現方法を深めておく。